



復刊第88号
題字吉岡弥生

日本女医学会本部移転成る

副会長 福永ひろ子



さわやかな秋の風が芦の湖を渡り、みはるかす湖の彼方に、新雪をいただいた麗峰富士が、細波立つ湖面に静かに逆さの影を落している。

箱根の秋を求めて往来する観光客は石畳の端になびく穂芒の波、可憐なうす桃の花をつけた萩の一群にふれて、ひとときの旅の疲れをいやす。秋はたけなわ。九月末日待望の新事務所ビルが完成した。

「青山宮野ビル」が正式名称である。国鉄渋谷駅より徒歩十分、東京駅よりタクシーで二十分。宮益坂上の仁丹塔の一区画青山寄りにある第百生命ビルの真裏にある。バスで来

るなら「渋谷二丁目」下車一分で大変わかりやすい。

外観は煉瓦色の、こじんまりした五階建のビルで、その三階の三〇一、三〇二号がわが日本女医学会事務所である。

二室共、天井はジブトン直貼り、壁面はミルクイーホワイト。事務室の床は渋いブラウン。会議室は渋いサーモンピンクで、落ちついた雰囲気醸し出している。ここに事務機器や会議用椅子、テーブルが搬入され、それぞれの機能を発揮する日も間近い。

所有権移転に関する諸手続き、購入残金の支払い等が済むと、三和建物から、各室の鍵を受け取り、ここで始めて名実共に、日本女医学会の所有となるのである。

第十五回国際女医学会の記念事業の一つとして、事務所移転が決議され

て以来五年、決して堂々とした建物ではないが、会員諸姉の協力によって、日本女医学会が始めて手にした事務所である。その運営に関してはこれからの問題であるが、随時理事会委員会が開かれ、白熱の討議が交わされ気分一新して女医学会が一步一歩前進する場となるであらう。

また単に会議のみならず、会員諸姉の親睦の場として、多目的(例えば、クラス会・趣味の会・ご上京の節の基点として)に利用していただきたいと思う。

戦後再発足して二十五年の長い間、日本女医学会のために、事務所を借用させていただき有形無形のご援助を賜った、至誠会のご厚情を決して忘れてはなるまい。心から感謝します。

先覚吉岡弥生先生は、戦前すでに日本女医学会館建設の壮大なご計画をお持ちであったとか。会館とまでにはゆかないが、事務所を我々の手で持ち得た事は、先生のご遺志の万分の一かを実現出来たとひとそかに自負している。しかし、将来きつと、もっと大きい事務所を、また日本女医学会をとの希みが芽生えて来るであらう。その夢を叶えて下さるのは若い世代の会員諸姉であると信じている。

十一月十五日には本会創立十五周年記念と事務所取得記念の式典が開催されるが、これを大きな節目として、わが日本女医学会がさらに飛躍発展する事を心から祈念して止まない。

目次

日本女医学会本部移転成る.....	福永ひろ子	1
三神会長の喜寿を祝う会.....	久保田くら 松岡 宏子	2
脳性マヒ児を守る会 保健文化賞を受賞.....	倉島 摂子	2
紹介二題.....	木原シヅ子	3
勲四等宝冠章に輝く岸直枝先生 松井寿美子先生の献身的な医療四十二年間の仁術		
Circular Letter No.64 No.65.....	山崎 倫子	4
昭和五十五年学位取得者表.....		5
支部展望		
品川だより.....	萩沢 雅子	6
杉並だより.....	磯部アイ子	6
新宿だより.....	駒ヶ嶺 純	7
理事会議事録(六月・七月・九月).....		8
会員動静.....		10
編集後記.....		10

新事務所移転のお知らせ

東京都渋谷区渋谷二丁目八番七号
青山宮野ビル

三〇一 会議室
三〇二 事務室

郵便番号 一五〇〇
電話 〇三(四九八)〇五七一

十月十五日より移転いたしました。

三神会長の

喜寿を祝う会



三神先生を囲んで

三神会長が今年喜寿を迎えられ、ご門弟方がその祝をされたことを漏れ聞き、「日本女医学会理事の有志でお祝を致しましょう」との声がかかり、早速に九月二十六日午後六時、ホテル・オークラの虹の間においてささやかながら心から祝意を表する会を催しました。

当日は常任理事会と理事会とがおこなわれ、長時間の会議の後でございました。

会の幹事
久保田くら
松岡 宏子

三神会長は、珍らしく黒の小粋なロング・ドレスを召され、いつもとは一味異なる雰囲気でお出されました。

祝辞を山崎倫子、記念品贈呈(記録)を福永ひろ子、乾杯を柳瀬路子らの各副会長がごもごも立ち、祝意を述べ、会ははじめられました。

堅苦しさは一かけらも感じられない、極めてなごやかな会で、飲む程に食う程に賑やかさ一入になり、客を忘れた一時もあつたような風景さえみられて楽しさ一ぱいの会でした。

宴たけなわの頃、出席者おのおのが一言づつお祝を申し上げようではないか、ということになりました。

皆様は弁舌さわやかかのお揃いのご様子で、長談議もあり、面白くかつおかしなお話も出るし、名文句続出、それに加えて美声の美しい歌もきかせていただき和気に満ちておりました。名文句の数々を要約いたしますと、永遠の美女は永遠に美女であれ、お年より断然お若いのは、「正しい道はただ一つ」という信念を貫き、

昨日のことを明日に持ちこさぬさらりとしたご性格からであろうか、何ごともご承知の上の沈黙をされ、忍耐強く、平和を愛する先生であられたからこそ国際女医学会もすつきりと開催することが出来たのである。等々、そして最後に異口同音に、いつまでもお元気に、そして永遠に美女たれ、と申しておりました。

先生は、本日の催しに極めて恐縮され、感謝され、一生懸命働らき、努力を惜しまぬとのごあいさつをされました。先生から出席者に記念品をいただきました。なお、理事会終了後に、事務の三人が、かわいいお花の花束をお祝に捧げておりました。会場にまいりますと、エディ・コーポレーションからこれまたお祝のお花が届いておりましたことを付記いたします。

財団法人脳性マヒ児を守る会 保健文化賞を受賞す



中野支部 倉島 摂子

受賞をおよろごびの龍 知恵子先生

保健衛生の向上にすぐれた業績をあげた団体や、個人、におくられる第三十三回保健文化賞の受賞式が九月二十四日、ホテルオークラ有明の間において行われました。当日は厚

ました。

この会は役員十五名中女医が十名(旧帝国女子医専卒)でございます。

理事長 龍知恵子 千代田区
理事 小俣喜久子 立川市

鈴木文子 港区
白井潔子 世田谷区

河津 緑
守屋孝子 中央区

森田和子
倉島摂子 中野区

二宮文乃 熱海市
沢田園子 中野区

まことに特異な会の構成です。しながら団結力は強く理事長、龍知恵子氏を要としてこの十五年間、一般の人に対して脳性マヒへの知識と理解、早期発見早期療育を強く提唱してきました。

昭和四十一年十二月より始めた第三日曜日の診療には十五年間に約二千名の受診、電話相談など併せますと六〇〇件に達しています。その各各に対して、納得のゆく様に医師の立場から指導してきました。十五年間の記録としてまとめた小冊子はごく判りやすく書かれていて家庭の主婦にもよみやすい様に配慮されています。入用の方は事務局へ申し込めば送ってられます

(電話〇三―四六五―七三三)
本年は障害者元年にあたります。この年に受賞されたこの会は偶然とはいえ福祉事業として保健衛生への貢献が評価されて大変に喜ばしい事と思えます。

紹介二題

勲四等宝冠章に輝く岸直枝先生

大田支部 木原シヅ子

日本女医学会群馬県支部長の岸直枝先生は、昭和五十六年四月二十九日、宮中において、勲四等に叙せられ、宝冠章を授与された。

- 一、各種学校校長
- 二、家庭裁判所調停員
- 三、桐生市教育委員
- 四、ガールスカウト日本連盟前会長
- 五、医師会監事

等で、そのほとんどが二十有余年に亘る勤続である。なお、岸病院院長として多忙の中でさらに昭和四十一年には、私財を以て「わたらせ養護園」を創立し、現在四十名の幼児精薄児を、全員無料で収容している。職員六十一名は一九九一となって清純な温かい教育をしている。



岸直枝先生

そして消化してゆく努力! こういう実りが成長して医人となつてからのあらゆる分野に表われて来たのであると思う。円やかにそして信念に充ちた根性の持主、善行へ向かつて徹底的に突進する力となつていったと思う。

松井寿美子先生の
献身的な医療四十二年間の仁術



松井寿美子先生

先生の近詠三首
四月二十九日宮中において
賜はりし玉音に心ふるへつつ春秋
の間を足すり出づる
養護園にて

泣くことも話す術さへ知らぬ子は
うつろな瞳に指くわえをり
かたくなに頼ひきつらせわめきい
る心病む子を切なく見つむ

昭和五十六年四月十七日、富山県福光町の松井寿美子先生が読売新聞社、主催 厚生省後援の医療功労賞を受けられた。今年の受賞者は全国から十五名選ばれた中に女医は先生一人であったという。

胸まで雪中に沈むような山間の僻地へも往診を断らず、なおかつ僻地に住む貧農にはいかに深夜長時間の往診であっても報酬を求めなかった。誠に「仁」の日常であった。

今回は木原先生及び倉島先生より女医として、誠に荣誉あるおしらせを頂き、早速本誌に掲載しご紹介することに致しました。全国津々浦々には女医としての地味な地域活動、又は社会事業にとご活躍の先生もおられることと思いますが、会員諸先生からのご紹介をお待ちしております。

原稿募集

また学校医として三十年間勤続し、かつ町会議員として四期を勤めたりした。それ故に各種新聞社、県知事、福祉事業協会等々よりの数多くの感謝状、表彰状、賞与等を受けられたと聞く。

Circular Letter No.64

国際連絡書記 山崎 倫子(訳)

MWIA (国際女医学会の略) 幹部役員会が一九八一年六月二十四、二十五、二十六の三日間に亘ってウィーンで開かれました。重要な決定事項についてお知らせします。

MWIA 新事務局

国際女医学会の新しい事務局は英国の Bristol に設置されることになった。新事務局は一九八三年七月一日を以って正式に開所する。

現事務局はマニラ会議の報告を作成し、諸々の記録や書類等を実際に移動する準備がととの正式手続が完了する迄使用することの許可を得ている。

英国女医学会はその間に新しい名誉書記と専務書記を任命する。開設当初においては Dr. Corner (前国際会長) が新役員を援助する旨の好意的な申し出がある。

MWIA 会議

マニラ会議の組織委員長 Dr. Enrique Santos と学術委員長 Dr. Canlas Dizon は詳しい経過説明のためはるばるウィーンの幹部役員会に出席さ

れた。

プログラムには、学術集会、事務総会、社交行事等を含む毎日のスケジュールが記されている。ほとんど全てのもてなし、晩餐会にいたる迄がフィリピン女医学会の招待となっている。

学術集会の内容は演題申し込みが届いてから作成される。学術論文のメ切りが早すぎた関係もあるので、この度追加募集を行う。演題、百五十以内の抄録を添えて口演者の経歴を連絡書記を通してウィーン事務局へ送ること。メ切りは来年九月末日迄延期された。

サブトピック ①、医師と患者の関係 ②、高齢者患者 ③、障害者 ④、末期患者、の他に ⑤、産科及び新生児学における Humane Management (心ある医療) が追加されたのでご承知願いたい。申し込み論文の採択についてはマニラの学術委員会より著者に直接連絡がある。

一九八二—八四年度の役員選挙

マニラ会議の総会の席上で行われる役員選挙に関しては、各国からそれぞれの役職に候補者が推薦されてきている。(氏名は省略する)

Lovejoy Jubilee Fellowship Fund (ラブジョイ記念奨学基金)

この基金は MWIA 会議に出席し学術プログラムに活発に参加する会員三名に一、〇〇〇スイス、フランを与えるために設けられたものである。残念なことに MWIA は、旅費登録費、宿泊費の全てを補助できる状態ではないが、一人当り一、〇〇〇 SF は必要経費の一助になることと思う。

幹部役員会において、その一人としてフィリピン南部回教徒地区に働くフィリピン女医がマニラ会議に参加できるよう補助を与えることに決定した。

したがってあと二人の適当な候補者が選ばれることになるが、希望者は各国女医学会を通して本年十一月迄に申し込まれたい。

政策決定について

ドイツ女医会からの、工業国会員の会費十%値上げと開発途上国会員の会費六十%を減ずる提案は先のバミンガム会議に上程されたことはすでにご承知の通りであるが、この問題について全女医学会に意見を問うたにもかかわらず十六カ国の女医会からの返答しか得られなかった——賛成七、反対九であった。幹部会ではこの結果をマニラで総会に報告し投票による決定を行うことを確認し

た。

MWIA Book Volume II

事業委員長 Dr. Beutik (世界の女医の発行責任者) に引き続き第二巻に着手するよう依頼したが残念にもアメリカの出版者は現在第二巻の発行は不可能であるとの連絡があった。したがって、今後数年間はこの計画を一時中止することに決定した。

第十九回 MWIA 会議——一九八四

Dr. Tamboline は第十九回 MWIA 会議を一九八四年七月二十九日から八月四日迄、バンクーバーで開催することに決定したことを報告した。テーマは "Men and Women - Biological and Behavioural Differences (男と女—生物学的及び行動学的差異)" 詳細はマニラ会議で説明する。

第二十回 MWIA 会議——一九八六

先に南アフリカから招待を受けているが、開催希望のある女医会からさらにお申し出を願いたい。テーマについても提案をお送り願いたい。現在フランスから次のテーマ案が届いている。一、性的に伝染する疾病 一、癌と環境 以上

No.65

会員の皆様お元気にお過ごしのこと

と存じます。MWIA より重要事項につきご連絡いたします。

マニラ会議

前回の会議の時と同じように皆さんからお土産をもってきていただき売ることが決まりました。"Bring and buy Stall" 追って募金委員長佐野先生から詳しい知らせがあります。

MWIA NEWS LETTER

MWIA のニュースレターは評判がよかったので、Dr. Tamboline にお願いで以後年二回発行することになりました。については各女医会からの情報が必要ですので、貴会における特別な事業、活動、計画と経過や、会員の個人的業績、受賞等についてのニュースをお送り下さい。ニュースレターの主目的は、各国女医会間の関係を密にすること、相互の関心と理解を深めることにあります。

マニラで若い MWIA 会員のための特別 Work Shop を開催

Dr. Readshow はベルリン及びバミンガム会議で若い会員達の声を聞いてきたが、若い会員達の持っているさまざまな問題を討議したり経験を交換する機会をもつことが必要であると考えた。若い女医会員の問題、希望や要望、また MWIA でのどんな役割を期待しているのか幹部会に説明するよう、以前から交流のあったドイツの Dr. Ute Otten を呼んだ。Dr. Otten は幹部会に提出す

る資料を準備するためにいくつかの女医会に質問状を送り分析する予定であったが、返答が不足でこの計画は不成功に終わった。しかし、ドイツ独自の調査から次のことをまとめた。

一、40才以下の会員は10%、30%
二、若い女医の持つ問題は、第一に家事と仕事の両立、第二にパートタイムの仕事が充分ないこと、及びパートタイムの卒後学習訓練の機会がないこと。第三に保育所や幼稚園の必要なこと、及び子供をかかえる女医には税金及び保険の金額の軽減が必要なこと。等である。

三、若い女医がMWIAの会議や活動に参加することを希望すると共に会期中にこのキャリアー問題についてより多くの配慮がなされるようまたディスカッショングループが設けられるよう望んでいる。

幹部会でこの問題を検討した結果、今後すべての国際会議と地区会議においてすべての加盟女医会の若い会員達が経験や意見を交換し、共通の関心事につき討議することを決定した。

Dr. Gomez は「ニラ」での会議において若い会員達のためにWork Shopを設けることを了承した。また彼女達に対する経済的援助として登録費を50%割引くと共に、フィリピン女医会がマニラ滞在費を負担することを申し出られた。

ただしこの恩恵が与えられるには次の条件がある。四十才以下であり、Work Shopに参加することである。

該当希望するものは各女医会から一名限り、今年度末までに国際本部まで申し出ること。(日本女医会経由) Work Shopの詳細は追って連絡する。目下Dr. Ottenが準備することになっている。

Sister Association 姉妹提携

工業国の女医会が発展途上国の女医会と姉妹提携することにより、助言や援助をしそれぞれの間に関心を深めることの効果について、シエラリオーネの女医会から提案を受けました。

幹部会としては、これはおもしろい思いつきではあるが、これに関して決定するために皆さんからのご意見をうかがいたいと思うので、この提案を支持するか否かについてご連絡いただきたい。

皆さんよろしく 以上

日本女医学会六十五周年記念特集号 原稿募集要項

- 一、内容 随筆、詩、和歌、短歌、書、色紙、写真等。
一、四〇〇字詰原稿用紙三枚程度
一、〆切 十一月末日

昭和55年度 全国医科大学学位取得者数及び日本女医会員学位取得者表 (学術部)

昭和56年6月5日、71校に調査依頼して58校より回答をいただき、会員外の92名に入会勧誘状を発送し、現在までに4名の方が入会された。

Table with 4 columns: 学校数, 取得者数, 日本女医会員. Rows: 国公立 (34, 52名, 0), 私立 (24, 53名, 17名), 計 (58, 105名, 17名).

(敬称略)

Table with 5 columns: 支部, 氏名, 出身校, 卒年, 論文名. Lists members and their research topics.

支部展望 東京都

品川だより

品川支部 萩沢 雅子

現在約二十八人の会員をもつ品川支部は、品川区が昭和二十二年東京都の南部のうちの東部の品川と、西部の荏原を合併させて出来たためか、女医学会も二分されている。

交通機関は、東海道本線西側が、東急目蒲線、池上線、大井町線そして都営地下鉄一号线が走り、大井町方面には、首都高一号线、モノレール、京浜急行が走り、第一、第二国道、中原街道も近い。また江東区とは湾岸道路で海底を走り通じている。



縄文式土器

地名は目黒川を古く品川と呼んだ。また砂川と称したところより転称、あるいは昔下無川略して品川、お隣りの高輪に対して品ヶ輪、鎧織に用いる品草を染め出したところから出たなどの説がある。中世にはこの地名を苗字としたと思われる品川氏の住地は、徳川氏に及んで長く代官の所轄であった。

東海道本線の西側は山手台地の突端で、大田道灌の館があつたので、御殿山といわれる。なお私の住居は元、伊藤町といった。これは初代内閣総理大臣の伊藤博文の住居跡及び、お墓があるからである。また江戸時代に約十万人を処刑したといわれる鈴ヶ森刑場跡があり、当時使われた台石なども残っている。

東品川の多くは明治二十年以降の埋立地であり、かつては、ノリ採取の漁民もいたが、現在は、京浜工業地帯の一部で工場、倉庫が多い。

明治四十一年には、品川埠頭が出来、東京電力品川火力発電所が出来ている。大井六丁目には、東海道本線の線路ぎわに、日本ではじめて発掘調査された大森貝塚があり有名である。その他建長三年北条時頼創建

の海晏寺、寛永十五年、徳川家光創建の東海寺等、お寺も多い。

現在は大井埠頭が出来広場になっており、区民のよき遊び場になっているが、一部は品川の土地となるため、学校も出来、医師の仕事も忙し

杉並だより

杉並支部 磯部アイ子

杉並支部だよりとのもので、この区はあらしを申し上げます。

杉並区は都の西南部に位置し、北は新青梅街道を境に練馬区、中野区に接し、西は環状八号線よりやや西方で武蔵野市に、東は環状七号線を境に中野区に、南は甲州街道を境に世田谷区に接しています。

交通は新青梅街道と平行して西武新宿線(新宿―所沢)青梅街道に平行して国鉄中央線が通り、この地下を地下鉄東西線(西船橋―三鷹)地下鉄丸ノ内線(池袋―荻窪)南は井の頭街道に平行し井の頭線(渋谷―吉祥寺)甲州街道に平行し京王線(新宿―八王子)とまことに交通の便がよい。しかも工場がなく緑地帯が多いので住宅地として発達したところです。

現在人口五十二万、官公立病院がありまので開業に適しています。杉並区医師会員六百八十名、その内女医

くなる。

なお区内は昭和大学医学部はじめ星薬科大学、立正大学、清泉大学等等あり、この度、地域を紹介させていただき、あらためて有意義なところであることを、再認識いたしました。

七十名、日本女医会員は他地区に勤務されている方もありますので約八十名です。女医の中今までに都代議員三名区会議員を三期続けた方もあります。

理事その他の役員をなさつておられる方も多数あります。これらの選挙の時には女医の結束固く男の先生方を驚ろかしております。

区医師会では学術講演会が月二、三回ありますが女医の出席率は非常に高く皆様よく勉強されております。日本女医学会の集りは年一回ですが二十人前後出席、出身校の別なくなくごやかに一夜をすごします。もう少し若い方が集って新風を送って下さいますようお願い申し上げます。

杉並区には名所は余りありませんが二、三申し上げましょう。妙法寺―高円寺の近くにあり落語の堀内まいりて有名な厄除けお祖師様として信仰されています。この近

くに和田堀火葬場があります。

大宮八幡宮―井の頭線西永福近くにあり、多摩の大宮とよばれ文献によれば南北朝時代より存在し、古來武將の信仰厚い神社です。ここより高井戸を通り旧鎌倉街道が鎌倉に向つていたと申します。

善福寺池―武蔵野湧泉の一つで近くの井の頭の池と共に有名です。ここより流れる善福寺川は大宮八幡宮の近くを流れ和田堀風致区として区民のいこいの場所です。

和田堀公園大宮遺跡(方形周溝墓、弥生土器先縄文石器縄文期石器土器出土)

松の木遺跡―複合集落遺跡(縄文弥生古墳土器、堅穴住居榎原家屋住居跡)

築地西本願寺墓地―井の頭線明大前駅近く、樋口一葉、九条武子の墓がある。

井草八幡宮―上井草近くにあり、拝殿前に源頼朝手植といわれる老松があります。

観泉寺―上井草近くにあり、今川氏真開基とし、今川氏累代墓がある。燈台元暗らして杉並に四十七年も住みながら大宮八幡宮しか知りません。区内名所旧跡位は廻つてみる心のゆとりがほしいものと思います。

来年は支部長交代の時期です。私のような非力の者でなくよい支部長と交代して下さいます日本女医学会の発展をとげていただきたいと思います。

新宿だより

副都心新宿から

新宿支部 駒ヶ嶺 純

三十六年目の終戦記念日を迎えてここ四、五日ラジオ・テレビ・新聞等に当時の悲惨な報道が続き、戦争はもう真つ平と思っておりました時に女医会からの原稿用紙が届き、卒業以来四十有余年、四捨五入すれば五十年書いたことのない作文を書かなくてはならないのかとショックでした。

あの時の戦火に追われ逃げ廻った何千何万の人の命を救った都の浄水場の広大な跡地に今は副都心として高層建築が林立し、ビルの谷間より昇り谷間に沈む太陽を見るこの頃です。

目下的新宿の人口は三十三万、女医会員は百十余名、さすがにお膝元だけあって東京女子医大卒業の方が百名近くもいらつしやいます。皆様それぞれに研究に診療にお励みで一人お一人の力が日本女医会を盛り立てている事でございます。区には女子医大、東京医大、慶応病院、国立東京第一病院、社会保険中央病院、厚生年金病院と近代医学の粋を競っており、私も小さな開業医は心強い寄り所に事欠きません。

新宿の救急車の年間出動回数は一万四、五千回で日本一とか、四月の

る事にして拙いペンを描きます。支部の先生方のご消息をくわしくご報告出来なくて申し訳ございません。

新宿から富士山が見えるといいますがとびつくりされませんが澄んだ日にはある時は真白なある時は薄暮の空にくっきりと藍色の姿を望むことが出来ませんがそれが東京に向うB29の恰好の目標になったと聞いて複雑な気持ちになります。

女医会の皆様のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

八月二十二日

寄贈図書及びパンフレット案内

全国婦人新聞、月刊前進座、I L O ニュース、婦人展望、浴風会 日本文化協会より、「光のプレゼント ニュース」

日中医学協会より、「日中医学ニュース」

婦人国際平和自由連盟より「婦人と平和」

婦人会館より「婦人団体名簿」

国立婦人教育会館より「会館だより」

日本国際医学生連盟より「JIMSVA」

東京都より「東京の女性」「働く女性のみちしるべ」「東京都行動計画」

「婦人に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」

日本ボランテニア協会より「日本ボランテニアだより」

国際女医会第十八回

国際会議のお申し込み

フィリピンのマニラで開かれる国際女医会第十八回国際会議のプログラムが届きました。

理事会で協議の結果、国際会議参加旅行は前回同様、日本交通公社と阪急交通社代理店トラベルプロモート(中村松男氏)に依頼することに決めました。

登録費は期限つき三段階になっていますので参加希望者は至急お申し込みいただきたく思います。

登録費

参加者

昭和五十六年十二月末日迄

昭和五十七年四月末日迄

昭和五十七年四月末日迄

昭和五十七年四月末日迄

昭和五十六年十二月末日迄

昭和五十七年四月末日迄

昭和五十七年四月末日迄

一七五 us \$

二〇〇 us \$

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日以降

昭和三十七年四月末日迄

昭和三十七年四月末日迄

昭和三十七年四月末日迄

昭和三十七年四月末日迄

昭和三十七年四月末日迄

宿泊についてもフィリピン女医会を通して申し込み前渡金を登録時に送るなどのきびしい条件をいつてきっております。

前記条件に基づいて、参加登録を申し込まれる方は、登録費及び宿泊費前渡金を含めて十二月十日迄に金十万円を日本女医会本部(富士銀行 渋谷支店・日本女医会マニラ国際女医会議口座番号普通預金一五一五四六六)迄ご送金下さい。

お申し込みのお問合せは本部までご一報下さい。

ただし十月十五日より事務所は渋谷区渋谷二一八一七青山宮野ビルに移転しました。(☎四九八〇五七一) 旅行のコース等についてはもう少し検討してからご案内申し上げます

理事会議事録

日時 昭和五十六年六月二十七日
場所 至誠会館 四階会議室
出席(敬称略)
三神、福永、柳瀬、山崎、稲葉、小侯、久保田、佐藤、竹内、野沢、松岡、丸山、八木、川口、川島、斎藤、鈴木、藤井、山本、添田、山口

欠席(敬称略)

守安、尾中、大原、川那部、佐野、清水、野口、野呂、蓮井、平瀬、藤田、マッキンストリ、森川、今野

庶務報告

松岡常任理事
4月25日 常任理事会、理事会を行う
4月30日 サンケイ新聞に献血運動に際し、当会協賛として寄付掲載する

5月11日 評議員会及び総会通知を発送する
5月14日 日本女医学会誌、会務報告、定款施行規則改正案、会費納入依頼、会費請求、振込用紙、年金加入ご案内及びブルーペンダ、リッカードミシン、カナダ旅行パンフレットを発送する

5月18日 国際婦人年連絡会全体会議に柳瀬副会長出席
5月31日 第二十六回定時総会、評議員会を愛知県ナゴヤキャッスルホテルにて開催する
6月5日 学位取得者、医師国家

試験合格者の調査依頼を各大学へする(七十一校)
その他事項
井口与志子岡山支部長より昭和五十八年総会開催地の承諾あり
村山達雄氏より厚生大臣就任の挨拶あり

会計報告

佐藤常任理事
四、五月分別紙どおり 承認
一、日本女医学会六十五周年記念祝賀について
日時 昭和五十六年十一月十五日
場所 東急ゴールデンホール
役割分担を決め準備をする
・講演に関して
・山崎副会長・学術部
・式典(記念品・招待状)記録に関して
福永副会長・広報部
・会場、懇親会、バザーに関して
柳瀬副会長・事業部・渉外部
・庶務部・会計部は全分門担当とする

講演について
吉岡弥生賞受賞者業績発表として藤井禱子先生と決定する
その他は、担当者に一任する
式典について 午後一時〜二時
・会長挨拶
・日本女医学会の歴史及び現在の活動状況

祝辞
・表彰式
二十五年度永年会員表彰
役員連続十年以上の表彰
新事務所の見学は午前中に出来るようにする(十一月十五日)
二、総会決定事項について
(1)定款施行規則が決定したので、定款と施行規則を四〇〇〇部印刷し、会員に配布する
(2)予備評議員選出のお願いを各支部長にする
(3)会費滞納三カ年までと決定したので、未納の方に納入依頼をする
三、その他
(1)世界身体障害芸術家協会より絵画がきの購入依頼について
二〇〇〇円送ることに決定
(2)エイボン女性文化センターより推薦依頼について
一九八一年エイボン女性大賞に三神美和会長を推薦する
(3)サンケイ新聞社より「祖国を失った子供たち」と題して菊版カラー写真集二万円の購入依頼について
購入しない
(4)日中友好婦人代表団へのおさそいあり、七月の会誌に掲載する
(5)中央法規出版(株)より厚生省広報誌「月刊厚生」の購読の依頼について
購入しない
(6)管理人、至誠会に例年どおりお中元をする
四、職員賞与について
夏期二、三ヵ月

冬期二、七ヵ月
以上 久保田くら
松岡 宏子

常任理事会議事録

日時 昭和五十六年七月二十五日
場所 至誠会館 四階会議室
出席(敬称略)
三神、福永、柳瀬、山崎、稲葉、小侯、久保田、佐藤、竹内、松岡、丸山、守安、八木

欠席(敬称略)

野沢
庶務報告
久保田常任理事
6月17日 昭和五十五年度支部助成を総会欠席支部長(四十六支部)へ送金する
6月27日 常任理事会、理事会を行う
6月29日 インドシナ難民を助ける会の総会に久保田常任理事出席する
7月2日 国連NGO国内婦人委員会総会へ柳瀬副会長出席する
ルーベンタン普及のため今野監事十二チャンネル「テレフォンショッピング」に出演
7月4日 各支部へ予備評議員選出及びへき地診療公衆衛生への助成者推薦の発送する
7月8日 エイボン女性文化センターへ三神会長大賞部門に推薦する

7月10日
三和建物へ新事務所購入中間金九百万円支払う
7月14日
厚生省へ昭和五十五年度事業報告書提出する
7月23日
国際婦人年連絡会全体会へ柳瀬副会長出席する
その他事項
・故広瀬夫佐子先生ご遺族より香典の礼状あり
・リッカードミシン一台販売あり

報告事項

一、婦人問題企画推進本部より、「国連婦人の十年」のポスターあり
二、日本看護協会より役員就任の挨拶あり
佐藤常任理事
六月分別紙どおり 承認
以上 久保田くら
松岡 宏子

会計報告

以上 久保田くら
松岡 宏子

理事会議事録

日時 昭和五十六年九月二十六日
場所 至誠会館 四階会議室
出席(敬称略)
三神、福永、柳瀬、山崎、稲葉、小侯、久保田、竹内、野沢、松岡、丸山、守安、八木、大原、川口、川島、斎藤、佐野、清水、鈴木、野口、蓮井、平瀬、藤田、マッキンストリ、森川、山本、今野、添田、山口

7月10日
三和建物へ新事務所購入中間金九百万円支払う
7月14日
厚生省へ昭和五十五年度事業報告書提出する
7月23日
国際婦人年連絡会全体会へ柳瀬副会長出席する
その他事項
・故広瀬夫佐子先生ご遺族より香典の礼状あり
・リッカードミシン一台販売あり

欠席(敬称略)

佐藤、尾中、川那部、野呂、藤井

庶務報告

松岡常任理事

7月25日 常任理事会を行う

7月27日 都下、目黒、練馬、中

野、豊島、新宿、品川、江東、

大田、板橋の各支部へ集中雷雨

見舞をする

(新宿支部より異常なほどの

連絡あり)

8月6日 北海道支部へ集中豪雨

見舞をする

8月19日 日本女医学会誌発送する

8月28日 アメリカ女医学会員来日

し、東京女子医大見学する

9月10日 カーリン・アンダーソ

ン・スウェーデン国務大臣の講

演会に柳瀬副会長出席する

9月17日 国内行動計画後期重点

目標について関係各省に質問す

る会に福永副会長出席する

9月24日 婦人問題企画推進本部

より婦人差別撤廃ウィーンセミ

ナーについて吉田欣子さんの報

告会へ柳瀬副会長、竹内常任理

事出席する

その他

・世界身体障害芸術協会より絵は

がき購入の礼状あり

・日中友好婦人代表団として青木

ちよ先生他一名(同伴者)の出

席申し込みあり

・リッカー・ミシン注文四台あり

報告事項

(1)日本家庭福祉会より婦人を対象とした「生きがい」についての

作文コンクールのお知らせあり

(2)荻野吟子に関するの書簡あり

(3)東京都より女性の地位に関する

有識者、婦人団体調査について

会計報告 守安常任理事

七・八月分別紙どおり 承認

議 題

一、事務所移転にともない定款一部

変更について

事務所移転にともない定款第二

条の住所変更のため臨時総会を開催

し、承認を得る

開催日は十一月十五日 講演会前

にする

二、六十五周年記念について

(1)表彰について

二十五年永年会員表彰及び役

員連続十年以上表彰文につい

て検討する

・記念品を決める

二十五年永年会員

パール銀台プローチ

役員十年以上

レジタル時計ペンダント

(2)スケジュールについて

・臨時総会 午後一時〜午後一

時二十分

・講演会 午後一時二十分〜午

後二時二十分

・六十五周年記念式典 午後二

時三十分

・祝賀会 午後四時

三、職員就業規則案について

大筋においてこれでよい、字句そ

の他について今一度各自検討して

四、その他

(1)昭和五十八年総会について

・日時は会計監査等があるので

五月二十八日、二十九日を希

望する

・会場は駅から近くがよい

・土曜日に評議員会、総会、懇

親会をし、翌日観光旅行を希

望する

(2)国際女医学会第十八回国際会議に

ついて

・登録費は期限つき三段階にな

っている

昭和五十六年十二月末日まで

二二〇usドル

昭和五十七年四月末日まで

二八〇usドル

昭和五十七年四月末日以降

三三〇usドル

旅行社は、前回同様日本交通

公社と阪急交通社代理店トラ

ベルプロモードに依頼する

・土産店を設けるので、今回も

持参してほしい

・M W I A N E W Sに掲載す

る原稿を連絡書記まで知らせ

てほしい

・四十才以下の国際女医学会は

10%〜30%である

・マニラ会議において若い会員

のために経済的援助として登

録費を半額と滞在費を負担す

る(四十才以下の会員、ワー

クショップに参加すること)

各国より一名今年度末まで申

・シエラレオネより姉妹女医学会

の提案があったが、当会とし

ては、反対であると返事をす

る

・国際女医学会マークを使ったハ

ンドバックハンガーを五十個

愛知支部より国際女医学会へ寄

付する

(山崎連絡書記と佐野先生で

相談する)

(3)来年の日中国交十周年を記念し

て婦人代表団歓迎に際し、募金

依頼あり

・個人で一口三〇〇〇円位いな

ので出来るだけ協力を願う

・会としては三万円位を予定

している

(4)前進座劇場建設について募金の

依頼あり

三万円か五万円との意見あり

会計部と相談して決定する

(5)国立婦人教育会館より「家庭教

育研究セミナー報告書」等の今

後資料送付について

不要である

(6)技術資料センターより「医療機

器事典」の購入依頼に対し、不

要とする

(7)荻野吟子に関して書簡について

次回理事会で検討する

(8)東京都より女性の地位に関する

有識者婦人団体調査についての

アンケートは渉外部に願う。

以上 久保田くら

松岡 宏子

バザーのご案内

場所 東急文化会館 八階 ゴール

デンホール

東京都渋谷区渋谷三三三

三〇三(四九八)四一八一

日時 昭和五十六年十一月十五日(日)

午前十時〜午後四時三十分

出品 毛皮、高級ハンドバック、靴、

宝飾アクセサリー、象牙細工、

時計、一流ブランドスカーフ、

書道用具、おしゃれ下着類、

ルーペンタン、等々

日本女医学会六十五周年及び本部事

務所移転を記念して、日本女医学会と

しては初めての試みですが、会員の

先生及びお知り合いをお誘いいた

だき、ご来場下さいますようご案内申

し上げます。

いずれも市価より格安で、年末を

ひかえての贈りものにも好適な品々

です。

また、趣味としてご覧下さるのも

楽しいものと思います。

なお、本年は国際障害者年にあた

りますので、収益は福祉にあてます。

ご来場の方は、バザー会場入口ま

たは、本部事務局にて整理券(二〇

〇円)をお求め下さい。



会員動静

支部長変更新支部長(敬称略)

中野支部長 長田安代
愛媛支部長 星加光江
鹿兒島支部長 桑原美智子

入会会員(敬称略)

北海道支部 白瀬真理
栃木支部 大野澄子
千葉支部 篠原洋子
神奈川支部 飯田浅子 岡 慶子

山梨支部 古瀬陽子 鈴木多恵子
愛知支部 小川禮子 高柳泰世 築山規子

大阪三支部 車 富士子
大阪五支部 大形順子
兵庫支部 井上滋子 野村美恵

高知支部 田中十糸子
佐賀支部 渡部洋子

新卒入会会員(敬称略)

北海道支部 埴 なぎさ
岩手支部 船山由香子
宮城支部 田島厚子 若林智子

群馬支部 佐藤菜穂子
栃木支部 北村和子
荒川支部 林わかえ

品川支部 渡部真綾
渋谷支部 玉川由美子 中島弥生
新宿支部 小倉美智子 黒崎伸子

豊島支部 金子りえ
中野支部 福井尚見

都下支部 中尾ゆう子
神奈川支部 五十嵐清美

静岡支部 前田 薫
愛知支部 窪田まゆみ
長野支部 加藤由実 安藤歌知子

新潟支部 市村美弥子
新潟支部 鈴木満喜子
大阪七支部 小松知香子

大阪八支部 西村純子 若山佳子
京都支部 西川雅子
兵庫支部 吉村由美

高知支部 太田律子
福岡支部 筒井浩子 南野麻里子
熊本支部 野浦洋子

退会会員(敬称略)

北海道支部 後藤京子
宮城支部 福島敦子
福島支部 石川定子

群馬支部 川辺志津子
埼玉支部 高浜喜美子
茨城支部 山中せい

千葉支部 田嶋真知子
荒川支部 松浦洋子
大田支部 木原智恵子

高野支部 松永和歌子
品川支部 上野瑠璃子
新宿支部 秋本美津子

杉並支部 堀口純江
世田谷支部 田中満智子
都下支部 岡宮美枝子 側垣恵子

山梨支部 飯久保知恵子 藤田栄
神奈川支部 大西裕美子
島田俊子
蓮実陸奥子
土屋よの 世良厚子

桶谷由紀

愛知支部 山田笑子 中川貞子

長野支部 宮川 操

岐阜支部 大宮照子

新潟支部 勝美富美
福井支部 竹下茂子 丹尾ちづ子

三重支部 内藤 操 中西とよ

奈良支部 西沢 璋 圓山幸子

大阪三支部 天方多鶴子

大阪十支部 野木園子

京都支部 中原百枝

兵庫支部 南堂和子 番 富美子

和歌山支部 鈴間伊登子

岡山支部 字根本純子 塩見房子

鳥取支部 近藤寿子

広島支部 高辻マサエ

山口支部 渡辺幸枝

福岡支部 梅田武子 長野文子

会員物故者(敬称略)

計報に接し哀悼にたえず謹んで
ご冥福をお祈りいたします。

福島支部 篠原京子

埼玉支部 北浜博子

葛飾支部 佐久間敏子

江東支部 西尾範子

中野支部 庄司歌子

都下支部 伊藤トミ

神奈川支部 山田淑子

愛知支部 藤高 栄

長野支部 神津清子

編集後記

福井支部 中沢みや子
大阪一支部 土井はな
兵庫支部 藤林やいの
徳島支部 藤田小冬

菊の香もゆかしいこの頃、会員諸
先生には益々ご健勝のことと存じま
す。扱て会誌八十八号を漸くお手許
にお届けすることが出来ましたこと
を厚くお礼申し上げます。顧みます
れば、

明治三十五年四月。二十名余の先
覚者達によって日本女医学会は、前田
園子女史のご自宅に於て企画されて
以来、

大正三年四月。会員二百余人に成
長し、日本女医学会第一回総会が上野
精養軒で開かれ、今日の礎が築かれ
たのであります。そして、

昭和十五年九月。会長吉岡先生は
紀元二千六百年記念事業として、日
本女医学会館建設募金運動を呼びかけ
られ、爾後約四十年を経た今日、

昭和五十六年九月。創立六十五周
年を迎え、会員四千余人の日本女医
会は、国際女医学会第十五回国際議

を起点としての大団結と誠意の結集
により、遂に本部事務所を獲得し、
先覚者の努力と希望は漸く達成、そ
の第一歩となったのである。更に会
館建設は今後の目標として益々切迫
琢磨、日本女医学会の発展を念じず
にはおられません。会誌に於ても、

大正二年六月二十五日。日本女医
会雑誌が創刊され、

昭和三十三年五月。日本女医学会誌
と改名、その第一号が復刊されてよ
り今日、八十八号を迎えたのであり
ます。尚当誌は会長の喜寿を始め、
会員の芽出度いニュースも多く、新
事務所の初仕事として誠に喜ばしく
ご寄稿頂きました先生方に厚くお礼
申し上げます。次号にも又活発なご
投稿をお待ちしております。

思いついたら先づ一筆。いつで
もお寄せ下さいます様お願い致しま
す

最後にご多忙中玉稿を賜りました
諸先生に深甚の謝意を表します。

広報 八木

昭和五十六年十月二十日 印刷
昭和五十六年十月二十五日 発行
編集人 野 沢 良 美
発行人 日 本 女 医 会
発行所 東京都渋谷区渋谷二一
八七七 青山宮野ビル
社団法人 日 本 女 医 会
TEL (498)〇五七一
印刷所 東京都文京区本駒込
一七七一 株式会社 北 斗 社